

2022年6月17日

JA広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	術後補助化学療法6ヶ月間における結腸直腸がん患者の身体活動量の変化と患者背景因子との関連：前向き縦断調査
倫理委員会承認番号	No.22-12
研究の対象	2022年7月から2023年9月の間にJA広島総合病院外来化学療法室において術後補助化学療法を受ける結腸直腸がん患者様、約80名です。
研究目的・方法	<p>本研究の目的は、術後補助化学療法6ヶ月間における結腸直腸がん患者の身体活動に影響する要因の変化と患者背景因子との関連を明らかにすることです。</p> <p>具体的には、以下の2点とする。</p> <p>(1) 手術前と術後補助化学療法6ヶ月間の3時点（1クール目初日、4クール目休薬期間、8クール目休薬期間）の計4時点の結腸直腸がん患者の身体活動量（国際標準化身体活動質問紙 [International Physical Activity Questionnaire; 以下IPAQ] 測定し、手術前と6ヶ月の治療期間中の変化を明らかにします。</p> <p>(2) 術後補助化学療法の6ヶ月の間の3時点（1クール目初日、4クール目休薬期間、8クール目休薬期間）の身体活動量と身体活動量の背景因子の関連を明らかにします。</p> <p>本研究の研究デザインは、縦断的デザインとし、同一対象者に、手術前、治療1クール目初日（T1）、4クール目休薬期間（T2）、8クール目休薬期間（T3）の計4回、他記式質問紙調査を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	研究にご協力いただける対象者様に研究者が聞き取りを行います。お聞きする内容は、氏名、年齢、住所、電話番号、お仕事の有無、手術した部位、運動量（身体活動量）、副作用症状についてです。研究者がカルテを閲覧することはありません。
外部への試料・情報の提供	外部への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ( )
お問い合わせ先	<p>広島県廿日市市阿品台東1番2号                  日本赤十字広島看護大学大学院看護学研究科共同看護学専攻                  研究責任者：鈴木香苗                  電話番号：0829-20-2800（大学代表） e-mail k17d1011@jrchn.ac.jp</p>
備考	